

1 教育目標 自ら考える子【知】 心豊かな子【徳】 たくましい子【体】

全ての子どもの学びを保障し、全ての子どもの安心・安全な居場所となるよう、一人一人を大切にしたい人権尊重の理念を基盤に教育活動を推進します。



目指す学校像 **元気に登校、楽しく生活、満足して下校できる 笑顔あふれる学校**

目指す児童像 **みずからチャレンジ 笑顔かがやく 下小岩の子**

目指す教職員像 **チームとして協働し、互いに切磋琢磨する教職員**

(1) 確かな学力の向上

【校内研究】国語科 読み解く力の育成 授業改善

- ① 主体的に学習に取り組む態度の育成（見通し・粘り強い取組・学びの振り返り）
 - ・「分かる」喜び、「できる」楽しさを感じられる魅力ある授業
 - ◇「めあて」「自力解決」「交流」「まとめ」「振り返り」（黒板掲示カード）
 - ◇「学力向上アクションプラン」
 - ・一人1台端末の積極的な活用
 - ◇協同的な学習の場を設定
 - ◇授業支援アプリ(ミライシード)
 - ・民間学力調査を実施し、自己の学びを振り返る機会とする。(2～6年生)
- ② 学習の基盤となる基礎・基本の確実な習得
 - ・学習規律の徹底
 - ・全校共通「学習ルール」
 - ・九九強化の取組
 - ・全学年 算数習熟度別指導の実施(個別最適な学び)
 - ・「アイテム算数」を使用した個別最適な学び(全学年)
 - ・区学力向上PTと連携した取り組み
 - ◇「東京ベーシックドリル」による診断をもとにした補習(学習タイム)
 - ・民間企業による補習教室 EDOスク
 - ・躊躇なく英語を話す児童の育成(イングリッシュデイ、専科教員の指導、ALTとの連携指導)
- ③ 読書科の推進 『主体的に読む子ども、問いつづける子ども』の育成～
 - ・読書を通じた探究的な学習を通して、情報活用能力、問題発見・解決能力、言語能力を育成「江戸川っ子 読書科コンクール」に全員参加
 - ・「読書センター」「学習・情報センター」2ヶ所の学校図書館を積極的に活用(巡回図書館員1回/週、図書ボランティアの方々の支援)
 - ・「よむYOMUワークシート」の取組 4～6年
 - ・「読売新聞ワークシート通信」の取組 3年
- ④ 教科担任制、学年内交換授業の実施
 - ・4,5,6年 : 社会、理科、国語など
 - ・全学年: 道徳の交換授業
- ⑤ 家庭学習習慣の確立
 - ・「江戸川っ子 study week!」各学期1回7日間。(iPad「ドリルパーク」活用)

(3) 体力向上

- ① 体力の向上
 - ・体育の授業の充実(校内での研修会)
 - ・外遊びの奨励(中休みは全員外遊び)
 - ・区「なわ跳びチャレンジウィーク」学期に1回
 - ・「長縄週間」「持久走月間」の設定
 - ・体カテストの実施と分析
- ② 食育の推進
 - ・栄養士による授業を年間1回以上実施
 - ・歯みがき指導 毎週水曜日のフッ化物洗口
- ③ 生活リズムの向上
 - ・「生活リズムウィーク」 → 「早寝 早起き 朝ごはん」
 - ・「下小岩 SNS 学校ルール」家庭と連携した情報モラルの向上

(4) 共生社会の実現に向けた教育の推進

- ① 地域に貢献できる児童の育成 「小岩が大好き！」
 - ・総合的な学習の時間 「私たちの下小岩」地域教材
 - ・縁日祭り、花壇コンクール等、地域行事に積極的に参加
 - ・『2030年SDGsビジョン』『2100年 共生社会ビジョン』の理解
- ② 個に応じた指導・支援の充実
 - ・特別支援巡回指導 日本語指導 不登校対応
 - ・ねらいを明確にした指導を実施
 - ・家庭、巡回指導教員、SC、学校心理士等、関係機関と連携し対応
- ③ エンカレッジルームの活用促進、介助員の配置
- ④ ユニバーサルデザインの視点での授業改善、教室環境の整備
- ⑤ 体験活動の充実
 - ・日本の伝統文化体験(地域の方から学ぶ)

(2) 豊かな心・健全育成

- ① 『心の3色のバラ』の共通実践により「基本的な生活習慣の確立」「規範意識」「互いを認め合い大切にしたい人権感覚」を育む。
 - ◇赤 「あいさつ」良好なコミュニケーション
 - ◇黄 「きまり」安全で楽しい集団生活
 - ◇ピンク「思いやり」温かな人間関係、整理整頓、美化(靴をそろえる)
- ② 生活スタンダード「下小岩のよい子」の共通実践
- ③ たて割り班活動による異学年交流
 - ・下小オリエンテーリング・遊び
- ④ 道徳教育の充実
 - ・道徳授業地区公開講座
 - ・学年内での交換授業
- ⑤ いじめ防止の取組
 - ・「下小岩小学校いじめ防止基本方針」を基に組織的対応
 - ・年3回の児童アンケート
- ⑥ 不登校対策の充実
 - ・区「Hot Project」に基づいた校内体制の整備
 - ・「居場所づくり」「きずなづくり」
 - ・L-Gate「毎日の記録」iPadを用いた日常的な心の健康観察
- ⑦ 安全教育の充実
 - ・避難訓練、不審者対応訓練、自転車教室・薬物乱用防止・情報モラル教室
 - ・SOSの出し方教室(自殺防止教育)など
- ⑧ 体験活動、宿泊行事の充実(5年:ウィンタースクール・6年:日光移動教室)
- ⑨ キャリア教育により、自己実現に向かって努力する態度を育成
 - ・キャリアパスポートの活用(目標・成長と達成感・自分の良さや可能性)
 - ・学級や学校で自己の役割を果たすことで自己有用感を育む。
- ⑩ 『江戸川区子どもの権利条例』の理解を通して人権意識を高める。

(5) 地域に広く開かれた学校の実現・信頼される学校

- ① 保護者・地域への積極的な情報提供
 - ・「学校・学年だより」の発行
 - ・ホームページの充実、年3回の学校公開(振替休日あり)
 - ・tetoru(連絡メール)の積極的な活用によるペーパーレス化
- ② 保護者、地域と共に児童の安全を守る学校
 - ・適切な感染症防止対策
 - ・防犯対策、避難所開設訓練
 - ・全保護者で児童の登校見守りを実施(PTA本部の支援)
- ③ 学校関係者評価を活用した教育活動の改善・充実
 - ・保護者アンケート、学校関係者評価委員会(学校評議員会)
- ④ 保護者への対応
 - ・怪我、トラブル、事故:その日のうちに迅速・確実・丁寧に対応
- ⑤ 安全・安心の居場所づくり
 - ・児童理解に基づいた、一人一人を大切にしたい指導と言動
 - ・教師と子ども、子ども同士の温かな人間関係の構築
 - ・教室環境の美化、言語環境・人権への配慮
 - ・毎朝、教師が児童を教室で迎え、安心・安全のスタート

